

平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

森を守ろう！～吉備の森レンジャー～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

吉備高原の魅力や自然の中で行う活動の素晴らしさを家族で体験する機会とし、自然を大切にする気持ちを育てる。

2. 事業の概要

（1）共催 株式会社おもちゃ王国

（2）期日 平成30年10月21日（日）日帰り（定員不足のため中止）
平成30年11月 4日（日）日帰り

（3）参加者

① 募集対象・人数

小学3年生～6年生とその家族・30人程度

② 参加人数

12人 （4家族）

（4）講師等

「ネイチャーゲーム」

講師：貞方 貴衣（国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職付）

「森を守る活動」

講師：内藤 三治 氏（加茂川ホリデイフォレスター 顧問）（他3名）

（5）企画・運営のポイント

- ① 民間企業との共催事業として、株式会社おもちゃ王国と役割分担を明確に示し、協定を結んだ上で、双方が得意とする役割を活かし、実施に向けて取り組んだ。
- ② 参加者が「森を守る」という意味を理解しながら活動できるよう、書き込み可能なパンフレットを作成した。また、パンフレットを成果物として持って帰ることができるようにすることで、自宅に帰ってからの振り返りにつながるように展開した。
- ③ 昨年度、台風で事業が中止になったことを踏まえ、今年度は必ず野外での活動が開催できるよう、雨天時の場合のための順延日を設け、予め日程を組んだ。
- ④ 参加者の様子や状況に応じて活動内容の変更を行いながら柔軟に対応できるよう、余裕を持った時間設定を行った。

3. 活動の内容等

(1) 日程

11月4日(日)	
8:30	受付
9:00	開会行事
9:15	ネイチャーゲーム
12:45	昼食
13:00	森を守る活動
15:00	閉会行事
15:15	解散

(2) 活動の状況



【ネイチャーゲームの様子】



【ネイチャーゲームの様子】



【森を守る活動の様子】



【森を守る活動の様子】



【おもちゃ王国作成チラシ】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① フィールドビンゴではいろいろなものを発見して楽しかった。
- ② のこぎりで木を切るのがすごく楽しかった。
- ③ 森の木にもたくさん名前があることを知った。
- ④ 森を大切にしたいと思った。
- ⑤ 周りの子供たちとも自然にお話しできていて楽しそうでした。(保護者)
- ⑥ 子供が積極的で驚いた。(保護者)

(3) 成果

- ① 外部講師には、分かりやすく講義をしていただき、参加者は自然に親しみながら楽しむことができた。そのとき、その場所にあった動植物を見たり触れたり、時には味見してみたりしながら、参加者の興味に沿いながら対応することができた。
- ② 株式会社おもちゃ王国との共催により、わかりやすく見やすいチラシの作成や新聞への広告掲載、岡山市と玉野市の後援をいただくなどと効果的な広報活動を展開できた。定員には満たなかったものの、岡山市や浅口市など各地から参加者を集めることができた。
- ③ 共催で企画・運営をすることにより、当日のスタッフ配置も余裕をもって実施することができ、スムーズな運営を行うことができた。
- ④ 参加者は、子供だけではなく大人も一緒になって森に親しみながら活動することができた。

(4) 今後の課題

- ① 株式会社おもちゃ王国だけに頼らず、当所もさらに広報活動に力を入れる必要がある。学校への周知以外にも、NPO法人や民間の野外活動団体などへも広報活動を行い、参加者確保に努める必要がある。
- ② 自然に親しむ活動や、森を守る活動の内容について再度見直し、さらに参加意欲につながるプログラムへの見直しが必要である。
- ③ 参加者同士の関わりをさらに増やし、吉備の森を存分に親しんでもらうように、来年度へ向け、日帰りの事業が適切か、宿泊を伴う事業が適切かを検討する必要がある。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣